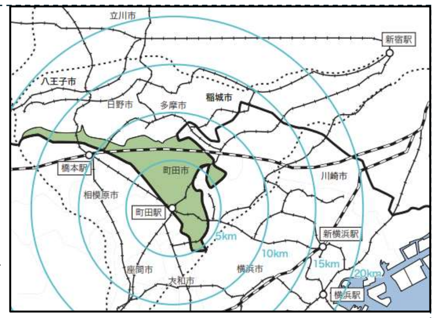
町田市の産業を巡る状況について

1　町田市の特徴



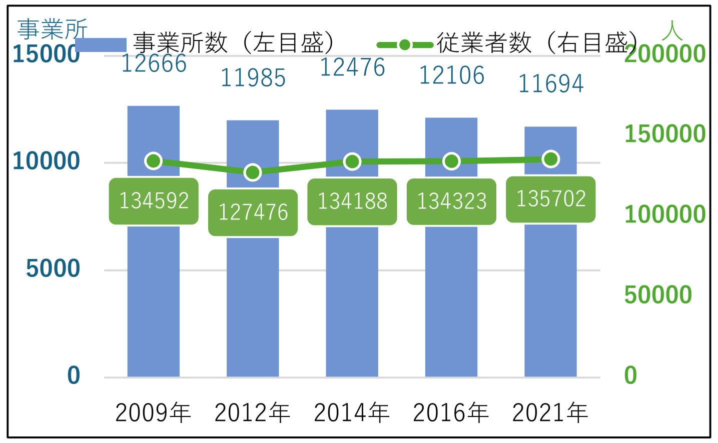
- ▸人口：約43万人（2024年1月）➔ 2025年をピークに減少傾向（推計）
- ▸年少人口の転入超過数 ➔ 政令指定都市を除いて全国第1位（2022年度）
- ▸昼夜間人口比率：90.3%（2020年度）➔ 昼間人口の流出が多い
- ▸小田急小田原線１日平均乗降人員：約24.6万人（2022年度）➔ 新宿に次ぎ第2位
- ▸ＪＲ横浜線１日平均乗車人員：約9.5万人（2022年度）➔ 横浜線で第1位
- ▸事業所数：11,694事業所（2021年度）➔23.3%が卸売業・小売業、商都町田
- ▸付加価値額：5,309億円（2021年度）➔ 多摩26市で第4位
- ▸年間商品販売額：6,532億円（2021年度）➔ 多摩26市で第2位、商圏人口200万人
- ▸製造品出荷額：864億円（2021年度）➔ 多摩26市で第11位
- ▸開業率：6.3%（2021年度）➔ 多摩26市で第3位
- ▸年間の新規融資実行額：約40億円（2022年度）➔ 金融機関との連携により、市内経済に資金供給
- ▸支援のﾈｯﾄﾜｰｸ：町田創業ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ、日本弁理士との連携協定、町田市事業承継推進ﾈｯﾄﾜｰｸ、関係支援機関等

2　町田市の産業

（１）事業所・従業者数

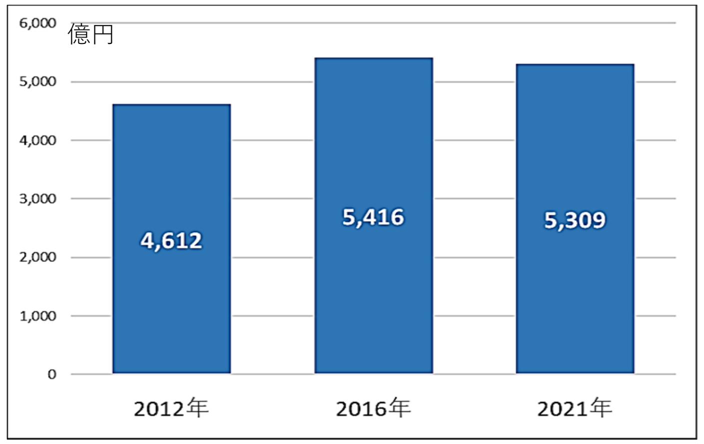
市内の**事業所数**は2014年度以降**減少傾向**です。**従業者数**は2014年度以降横ばい**傾向**です。

事業所数・従業者数ともに、コロナ禍等の影響により、「宿泊業・飲食サービス業」の減少率が大きくなっています。



（２）付加価値額

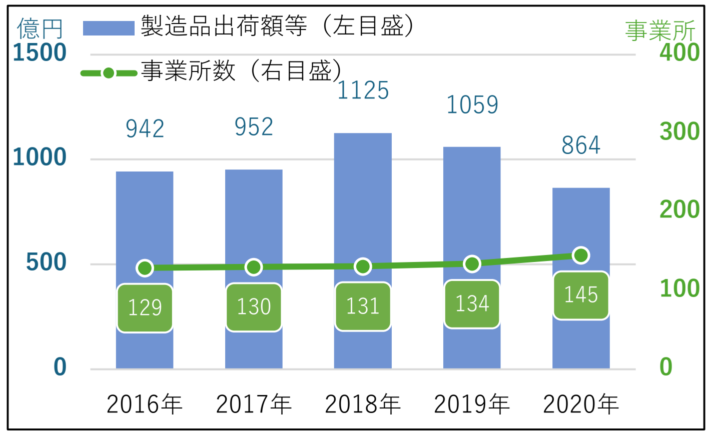
市内の**付加価値額**は、2012年から2016年にかけて増加しましたが、2021年は**減少**しています。産業別にみると、2016年から2021年にかけて「建設業」「医療，福祉」が増加した一方、「運輸業，郵便業」「宿泊業，飲食サービス業」「生活関連サービス業，娯楽業」等の減少が大きくなっています。



（３）製造品出荷額

市内製造業の事業所数は2016年以降増加傾向です。

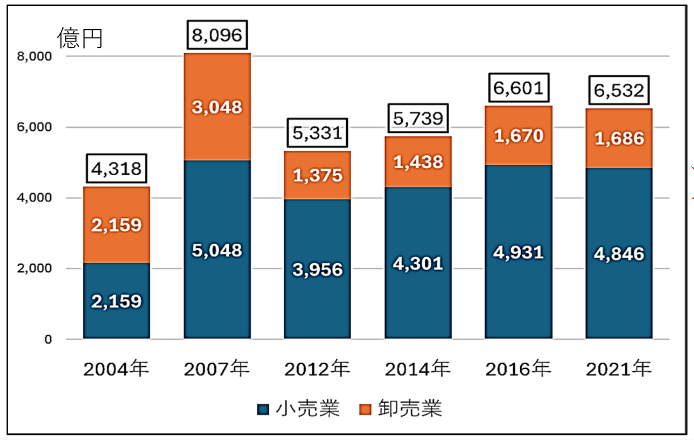
また、製造品出荷額は2018年をピークに減少しており、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等の減少率が大きくなっています。



（４）年間商品販売額

市内の**年間商品販売額**は、2012年から2016年にかけて増加しましたが、2021年は**減少**しています。

小売業が減少していることや、インターネット通販等により、小売業における年間商品販売額が減少していることが考えられます。



（５）町田市の開業率

町田市の開業率（2016年～2021年）は6.3%です。近隣との比較では、川崎市（5.7%）、八王子市（4.4%）、相模原市（4.4%）よりも高くなっています。また、多摩26市平均（4.9%）よりも高くなっています。多摩26市では、立川市（6.8%）、武蔵野市（6.5%）に次いで、第３位となっています。

順位	都市名	開業率 2012年→2014年	都市名	開業率 2014年→2016年	都市名	開業率 2016年→2021年
1	多摩市	10.0%	立川市	7.4%	立川市	6.8%
2	町田市	8.2%	町田市	6.4%	町田市	6.3%
3	横浜市	8.0%	横浜市	5.9%	多摩市	6.1%
4	立川市	7.5%	多摩市	5.3%	横浜市	5.8%
5	川崎市	7.4%	川崎市	5.5%	川崎市	5.7%
6	八王子市	7.1%	八王子市	5.2%	八王子市	4.4%
7	相模原市	6.5%	相模原市	4.6%	相模原市	4.4%
	東京都平均	8.5%	東京都平均	6.2%	東京都平均	6.5%
	多摩26市平均	7.1%	多摩26市平均	5.2%	多摩26市平均	4.9%
	全国平均	6.3%	全国平均	5.0%	全国平均	4.6%

近隣7市比較（順位1～7）

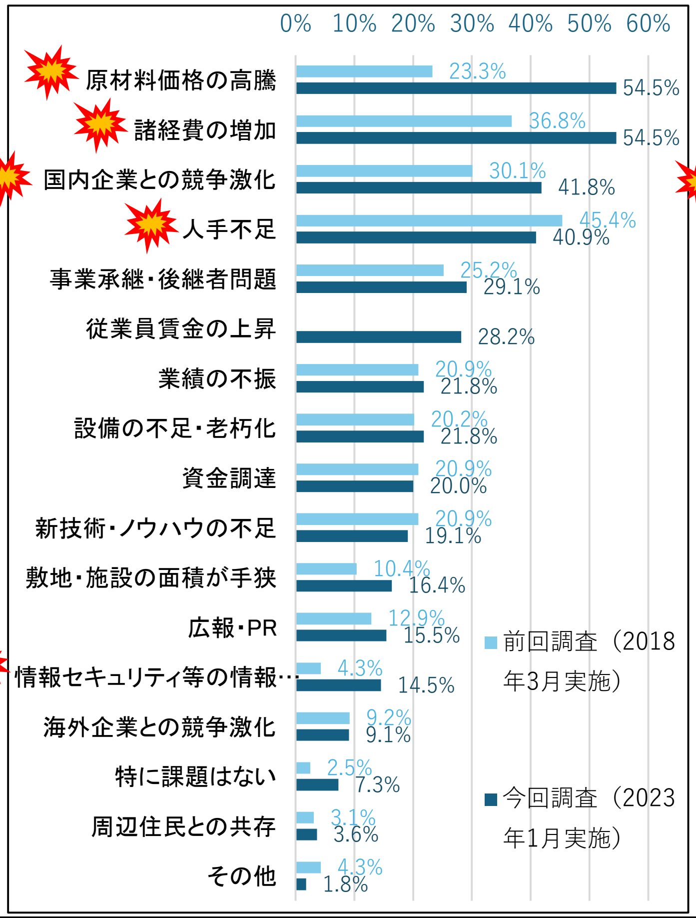
出所：総務省「経済センサス」

※「2014年→2016年」は2014年7月～2016月の23ヶ月を年換算し計算。
「2016年→2021年」は2016年6月～2021年6月の60ヶ月を年換算し計算。

3　市内事業者が抱えている課題（2022年度の市内事業者アンケート結果）　※複数回答可

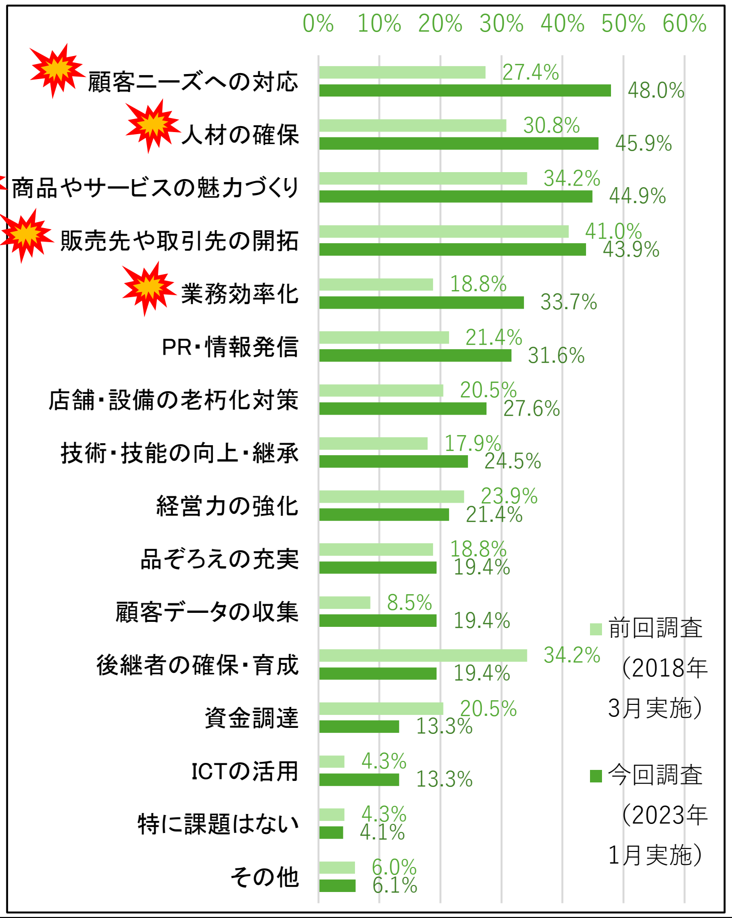
（１）製造業等の事業者

製造業等では、「原材料価格の高騰」「諸経費の増加」「国内企業との競争激化」「人で不足」の割合が大きくなっています。前回調査からは、「原材料価格の高騰」「諸経費の増加」「国内企業との競争激化」「情報セキュリティ等の情報」等が増加しています。



（２）商業等の事業者

商業等では、「顧客ニーズへの対応」「人材の確保」「商品やサービスの魅力づくり」「販売先や取引先の開拓」の割合が大きくなっています。前回調査からは、「顧客ニーズへの対応」「人材の確保」「商品やサービスの魅力づくり」「業務効率化」等が増加しています。



ビジネスに、働く人に、心地よいまち

目指す将来像	指標	
	付加価値額の増加	
	【計画策定時】5,416億円（2016年）	【現状値】5,309億円（2021年）

施策の柱：『立ち上げる』チャレンジ

施策
- （１）起業・創業の魅力を伝える
- （２）想いを形にするためのサポート
- （３）起業・創業後の事業拡大を後押し

達成状況

指標：開業率の上昇

【計画策定時】（2014年～2016年）	【現状値】（2016年～2021年）
6.4%	6.3%

個別施策の評価

◎（予定以上に進んでいる）	6 施策
○（予定通りに進んでいる）	5 施策
△（予定以上に進んでいない）	0 施策
◎及び○の割合	11 /11施策

（すべての施策が◎か○）

実施主体等
- 実施主体：町田市（産業政策課）、町田新産業創造センター、町田商工会議所、ＢＵＳＯ　ＡＧＯＲＡ、金融機関
- 関係団体・ネットワーク：町田創業プロジェクト、東京都中小企業振興公社（TOKYO創業ステーションTAMA）

具体的な取り組み

取組内容	単位	達成状況	達成目標
セミナー実施回数	年間回数	14	3
創業スクール参加者数	累計（名）	771	250
女性向けセミナーの参加者数	累計（名）	105	100
「起業家カード」の発行数	累計（枚）	886	700
創業相談件数	累計（件）	2,125	2,000
市の融資制度において創業支援特例を受けた件数	年間件数	35	20

【主な新型コロナ等臨時対策】
- ・ファーストステップセミナー等のオンライン化（2020年度）
- ・ファーストステップセミナーの動画コンテンツ化（2021年度～）
- ・創業関連セミナーの開催（2020年度～）
- ・若者創業スクール事業（2022年度）

4年間の総括

起業・創業の魅力を発信する取り組みのほか、セミナー等の実施状況や「起業家カード」の発行件数等は順調に推移しており、「町田創業プロジェクト」による支援は、目標を上回る成果を上げています。
引き続き、起業・創業に向けたきっかけづくりや、創業の実現のサポート、起業・創業後の事業拡大を後押しすることが必要です。

施策の柱：『拡げる』チャレンジ

施策
- （１）新分野・新技術への進出を後押し
- （２）独自の「強み」を磨く取り組みをサポート
- （３）異業種・異分野との連携による新たな価値の創出

達成状況

指標：1事業所あたりの付加価値額の増加

【計画策定時】（2016年）	【現状値】（2021年）
5,070 万円	4,960万円

個別施策の評価

◎（予定以上に進んでいる）	9 施策
○（予定通りに進んでいる）	4 施策
△（予定以上に進んでいない）	2 施策
◎及び○の割合	13 /15施策

（◎と○が8割以上）

実施主体等
- 実施主体：町田市（産業政策課、農業振興課）、町田商工会議所、町田新産業創造センター、町田市農業協同組合
- 関係団体・ネットワーク：日本弁理士会関東会、東京都立産業技術研究センター、東京都中小企業振興公社、まちだテクノパーク、町田市商店会連合会、町田青年会議所、町田法人会、南西フォーラム

具体的な取り組み

取組内容	単位	達成状況	達成目標
産業財産権取得補助件数	年間件数	28	12
知財啓発事業（相談会・セミナー等）件数	年間件数	6	5
新たな販売手法（ｷｬｯｼｭﾚｽ、EC関連等）に関するセミナーの実施件数	年間件数	5	2
新商品・新サービス開発事業補助件数	累計（件）	15	2
トライアル発注認定商品の認定	累計（件）	51	48
各種見本市・展示会等出展支援	年間件数	27	20
異業種・異分野間の連携により、事業化・商品化された件数	累計（件）	25	44

【主な新型コロナ等臨時対策】
- ・キャッシュレス決済プレミアムポイント事業（2020年度　第1弾、2021年度　第2弾、2022年度　第3弾）
- ・産業見本市出展支援事業の拡充（2020年度～　オンライン見本市を補助対象に追加、2021年度～　コンテンツ作成費を対象経費に追加、補助上限金額を増額）
- ・中小企業者デジタル化支援事業（2022年度）

4年間の総括

産業財産権の取得補助やトライアル発注認定商品など、競争力強化や付加価値向上に向けた支援が進んでいます。また、新商品・新サービスの開発補助や、各種見本市・展示会等出展支援など、販路拡大支援が進んでいます。
一方で、異業種・異分野間の連携による事業化・商品化については、目標未達となっています。

施策の柱：『つなぐ』チャレンジ

施策
- （１）安定した事業継続をサポート
- （２）次代を担う人を育てる
- （３）円滑な事業承継を推進

達成状況

指標：事業所数の維持

【計画策定時】（2016年）	【現状値】（2021年）
12,106 事業所	11,694 事業所

個別施策の評価

◎（予定以上に進んでいる）	4 施策
○（予定通りに進んでいる）	9 施策
△（予定以上に進んでいない）	3 施策
◎及び○の割合	13 /16施策

（◎と○が8割以上）

実施主体等
- 実施主体：町田市（産業政策課）、町田新産業創造センター、町田商工会議所（多摩ビジネスサポートセンター）、金融機関、東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センター
- 関係団体・ネットワーク：町田市事業承継推進ネットワーク、東京都よろず支援拠点、町田市経営診断協会、東京中小企業家同友会町田支部、町田・相模原経済同友会

具体的な取り組み

取組内容	単位	達成状況	達成目標
町田商工会議所経営指導員の巡回・窓口相談	年間件数	3,054	3,200
「先端設備等導入計画」認定	累計（件）	78	120
町田商工会議所専門相談の相談者数	年間件数	273	80
市融資制度の事業承継メニュー活用件数	累計（件）	25	10
事業承継推進ネットワークによる市内事業者の事業承継マッチング件数	累計（件）	39	12

【主な新型コロナ等臨時対策】
- ・中小企業者家賃補助事業（2020年度　第1弾・第2弾、2021年度　第3弾・第4弾）
- ・東京都行政書士会町田市部と連携した、行政手続きの市民相談会（2020年度）
- ・デリバリー利用者等負担軽減事業業（2021年度）
- ・テイクアウト・デリバリー支援給付事業（2021年度　第1弾・第2弾）
- ・中小企業者BCP策定支援事業（2022年度）
- ・原油価格等高騰対策事業者支援事業（2022年度）

4年間の総括

市内の「事業所数」は減少しています。事業所数を維持するため、事業継続や事業承継の支援や、起業・創業による事業者数の増、競争力強化や販路拡大等を通じた経営安定化による休・廃業者数の減に向けた取り組みが必要です。
また、これまで家賃補助事業や原油価格等高騰対策事業等を通じ、事業継続支援に取り組んできました。引き続き、物価高騰等の影響を注視しながら、適切に対処することが必要です。

施策の柱：ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり

施策
- （１）働きやすいまちづくりの推進
- （２）「選ばれるまち」としての魅力を高める
- （３）まちの賑わいを生み出す

達成状況

指標：昼夜間人口比率の上昇

【計画策定時】（2015年）	【現状値】（2020年）
91.7%	90.3%

個別施策の評価

◎（予定以上に進んでいる）	7 施策
○（予定通りに進んでいる）	3 施策
△（予定以上に進んでいない）	4 施策
◎及び○の割合	10 /14施策

（◎と○が8割未満）

実施主体等
- 実施主体：町田市（産業政策課、男女平等推進センター）、町田商工会議所、町田新産業創造センター、町田市農業協同組合、町田市勤労者福祉サービスセンター、町田市観光コンベンション協会
- 関係団体・ネットワーク：東京しごと財団、ハローワーク町田、東京しごとセンター多摩、東京都労働相談情報センター多摩事務所、八王子労働基準監督署町田支所、町田市商店会連合会、町田市中央地区商業振興対策協議会、よい仕事おこしネットワーク

具体的な取り組み

取組内容	単位	達成状況	達成目標
働き方に関するセミナー等の実施回数（市内開催）	累計（件）	25	20
シェアオフィス等の立地件数	累計（件）	33	2
町田市勤労者福祉サービスセンター	会員事業所数	708	930
企業等立地件数	累計（事業者）	4	10
商店会のイベント・活性化事業数	年間件数	40	46
商店会に専門家を派遣した案件数	累計（件）	28	60
イベントの来場者数	年間来場者	80,126	150,000

【主な新型コロナ等臨時対策】
- ・町田市中小企業制度融資「緊急資金」の拡充（2020年度～2021年度　利子補助の拡充により実質無利子化、融資限度額を500万円から1,000万円に増額。2022年度～　ウクライナ情勢等による影響を受けた事業者も緊急資金の対象に追加）
- ・マル経融資の拡充（2020年度～　一般マル経に加えコロナマル経も利子助成）
- ・中心市街地空き店舗等利用促進事業（2022年度）
- ・勤労者福祉サービスセンター会員サービス向上事業（2022年度）

4年間の総括

「昼夜間人口比率」は減少しています。多様な働き方が浸透し、シェアオフィス等の立地件数が大幅に増加しているため、市内における事業活動や働きやすい環境を整える取り組みが必要です。
また、新型コロナウイルス感染症による影響は回復傾向にありますが、イベント来場者数は目標を下回っているため、商店会への支援やイベント等を通じて、まちの賑わいにつなげることが必要です。

「町田市産業振興計画19－28」後期実行計画の主な取り組み

★：新規　◎：拡充　○：継続

	施策	個別施策	主な取り組み	
「立ち上げる」チャレンジ	1)起業・創業の魅力を伝える	①幅広い世代に向けた起業・創業の魅力発信	○まちだキッズアントレプレナープログラム ○中・高生向けセミナー ○若年層向け創業機運醸成イベント	引き続き、起業創業の魅力を発信
		②起業・創業への第一歩を支援	○まちだ創業スクール ○まちだ女性創業スクール	
	(2)想いを形にするためのサポート	①起業・創業の実現に向けたニーズに沿った支援	○町田創業プロジェクトによる創業セミナー、相談対応	町田創業プロジェクトの着実な推進
		②起業・創業支援の担い手の拡充	○民間創業支援機関同士の連携セミナー ○中心市街地活性化奨励制度 ★市内コワーキングスペース等との連携（情報発信等）	市内に増えたコワーキングスペース等との連携
	3)起業・創業後の事業拡大を後押し	①起業・創業初期の経営支援	○各種マッチングイベント	販路拡大、事業安定化に向けた機会を提供
		②起業・創業後の事業拡大に向けた資金調達の支援	○町田新産業創造センターにおけるクラウドファンディング支援 ○町田市中小企業融資制度「創業資金」	
「拡げる」チャレンジ	(1)新分野・新技術への進出を後押し	①産業財産権に関する啓発・取得の支援	◎産業財産権取得費用補助 ○日本弁理士会との連携協定に基づく知財セミナー、知財無料相談会	「創業3か月以上」の事業者も補助対象
		②環境変化に応じた商業事業者等の販売促進の支援	○多様な販売手法に関するセミナー ○デジタルマンツーマン支援事業 ◎カタログギフト事業の推進	新商品発掘や販路拡大を支援
		③新しいビジネスモデルや新技術の導入に挑戦する事業者を支援	○新ビジネス・新技術に関するセミナー ◎新商品・新サービス開発事業補助 ★研究機関等の実験機器借用費用補助	新商品の開発・改良を支援
	2)独自の「強み」を磨く取り組みをサポート	①自社の技術を生かし、競争力を高める取り組みを支援	◎トライアル発注認定制度の拡充 ○トライアル発注認定事業者へのビジネスアドバイザー派遣	
		②町田の特色や強みを生かした商品・サービスの開発、ブランド化の促進	○各種イベント出店PR ○町田の好きなお店大賞 ○まちだシルクメロン活用商品の認定	
		③営業支援や展示会出展支援を通した販路拡大の促進	◎産業見本市出展費用補助 ○トライアル発注認定事業者へのビジネスアドバイザー派遣	「創業3か月以上」の事業者も補助対象
	(3)異業種・異分野との連携による新たな価値の創出	①異業種・異分野との連携機会の創出	○交流・連携イベントの開催	
		②連携による新たな価値の創出に関する支援	○新商品・新ビジネスの創出を支援	異業種・異分野の連携を促進・支援

	施策	個別施策	主な取り組み	
「つなぐ」チャレンジ	(1)安定した事業継続をサポート	①コスト削減や売り上げ向上の取り組みを支援	○町田商工会議所経営指導員の巡回・窓口相談 ○対面講座（集団講座、個別講座）、オンライン講座の実施	
		②業務の効率化・生産性向上を促進	○e－tax活用支援の実施 ○ICTの専門家や関連事業者と中小企業のマッチング ○「先端設備等導入計画」の認定 ◎事業者のDX、GX化を支援	事業者の業務効率化・生産性向上を支援
		③事業継続の課題解決に向けた取り組みを支援	○経営課題等に応じた専門家個別相談会の開催 ○危機管理対策に関するセミナー・ワークショップ	
	(2)次代を担う人を育てる	①将来を担う人材の確保を支援	○東京都との連携による就職面接会、採用相談会 ◎事業者の人材確保・定着に向けた支援を拡充 ★「合同企業説明会」等の開催	中小企業者の人材確保を支援
		②人材育成やキャリア形成に関する支援	○新入社員研修の実施 ○「MachiBiz」等の開催	
	(3)円滑な事業承継を推進	①事業承継に対する早期の対策の促進	◎事業承継推進ネットワークによるセミナー及び相談事業の実施 ○市内事業者への事業承継に関する調査	事業承継に係る相談機会の充実
		②事業承継や後継者育成に関するニーズに応じた支援	○産業支援機関や金融機関等、事業承継推進ネットワーク構成機関による事業者の個別相談実施 ○事業承継推進ネットワークによる事業者やセミナーの実施	
		③事業承継マッチングや事業承継手続きに関する支援	○町田市中小企業制度融資「事業承継資金」 ○事業承継推進ネットワークによる市内事業者への事業承継に向けた多様な支援の実施	
ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり	(1)働きやすいまちづくりの推進	①多様な働き方を実現するための環境づくり	○労働関連セミナー ○中心市街地活性化奨励制度 ★市内コワーキングスペース等との連携による情報発信	多様な働き方ができる環境について情報発信
		②心地よく働き続けることができる環境づくり	○町田市勤労者福祉サービスセンター事業	
	(2)「選ばれるまち」としての魅力を高める	①事業者サポート体制の充実	○経営課題等に応じた専門家個別相談会	産業支援機関、金融機関、士業、コンサルティング業等、多様な主体による「かかりつけ医」的な支援
		②多様な資金調達の支援	○町田新産業創造センターにおけるクラウドファンディング支援	
		③市内におけるオフィスや工場の新設・規模拡大を支援	○企業等立地奨励制度	
		④町田の特色や強みを生かした事業者の集積を促進	○中心市街地活性化奨励制度	
		⑤町田で働く魅力の発信	◎表彰制度の拡充	市内中小企業の魅力発信
		⑥産業支援に関する有効な情報発信	○「よい仕事おこしネットワーク」によるイベント出展や情報提供 ○産業支援メニュー説明会の実施 ★地域経済現況調査	環境変化から生じている課題を把握し、適時適切に対応
	(3)まちの賑わいを生	①コト・トキ・モノ消費を楽しむことができる「商店街」の育成支援	○商店会が実施するイベント等を支援 ○市内商店街スタンプラリーの開催	
		②町田の産業の魅力発信	○キラリ☆まちだ祭りなど、各種イベントを通じ、市内産業（企業、商品、サービス等）をPR	